

事務事業名	市交通対策協議会運営事業	事務事業No.	40301000706	所属課	生活安全課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 町村合併により、警察、行政、交通安全関係団体が一体となって交通安全啓発活動を行うにあたり、交通安全活動の企画推進するため平成18年3月に設立された。 平成20年以降、年々高齢者の交通死亡事故が増加し、車に乗らない取組みを平成24年度で協議し、平成25年度から身体や、年齢等で運転に不安を感じている高齢者が運転免許証を自主的に返納した人に対し、支援する事業を平成25年4月から施行した。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・高齢者の交通事故防止するため事業の拡大(輪投げ大会参加者の増員、出前講座の拡充など)してほしい ・高齢者クラブ等に参加している人は、交通安全の話を知っているため、参加しない人、出歩かない人などにも広く交通安全を広めてほしい要望がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 茨城県交通対策協議会の推進する茨城県交通安全県民運動推進要綱に基づき、市交通安全の中心となって推進しており政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 茨城県交通対策協議会の推進する茨城県交通安全県民運動推進要綱に基づき、市交通安全運動事業を展開し、市民・道路利用者へ直接交通安全啓発活動を行っており公共関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 街頭啓発活動を多く実施すれば、予算にも影響してしまうため、各地区へ警察官が出向き交通安全講話し交通安全を呼び掛けたり、夜間出歩く人への反射材着用も呼び掛けていくことが必要であるため向上の余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 茨城県交通対策協議会を母体に、県内すべての市町村に交通対策に関する団体を設置しているため休止・廃止は影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない H26から交通安全啓発事業と統合しており、このほか類似する事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 補助金で運営しており必要最小限の予算で事業を展開しているため、削減はできない。また交通安全運動啓発活動企画・推進を行う団体であるため、人件費の削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民全体・道路利用者へ交通安全啓発活動を目的にしているため公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	高齢者対策として、出前講座を桜川警察署を中心に取り組んだ。高齢者運転免許自主返納支援事業において33件(H25 26件)の申請があり予算が圧迫していたが、次年度から市事業として実施していく運びになり、次年度の免許返納事業分は予算削減した。春の全国交通安全運動が統一選挙により5月にずれしたが、新入学生対策として早朝立哨を実施した。																						
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 県内の交通事故の半分は高齢者が占めており、今後も高齢者に対する事業を検討する必要がある。また、自転車利用者(子供から高齢者)のマナー対策、安全利用をも合わせて検討していく必要がある。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果		②																						
コスト削減優先度評価結果		④																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>